



2019年3月期決算説明会

2019年5月30日

三菱ロジスネクスト株式会社



2019年3月期決算概要

三菱ロジスネクスト株式会社
取締役社長 御子神 隆

市場環境

- 世界経済は、米中貿易摩擦の影響による中国での経済成長減速や米国・欧州の成長の鈍化により全体的に停滞基調。
- 米中貿易摩擦の膠着化や欧州でもBrexitの影響等により予断を許さない状況であり、国内経済も資材費高止まりの継続や消費税増税による不透明な状況が続くものと思われる為、今後の動向には注意を要する。
- フォークリフトを中心とする物流機器業界は市場伸長鈍化の懸念が浮上していることに加えて、競争環境は依然として厳しい状況にある。このような状況の中、当社はトップクラスの総合物流機器メーカーを目指し、お客様のニーズにお応えすることで、より一層の成長を目指す。

連結業績概要

- 売上高は堅調な国内需要や世界的な販売増および販価改善活動効果が寄与し、前年比+3.5%の増収。
- また、営業利益は資材費高騰等の影響があったものの、一時費用の解消・販価改善・機種統合効果およびのれん等償却費減少が寄与し、前年比+41.8%の増益となる。

2. 決算ハイライト

(単位：億円)

損益計算書	2018年3月期	2019年3月期	前年同期比増減	
売上高	4,330.9	4,483.8	+152.9	+3.5%
営業利益 (のれん等償却前) (営業利益率)	191.3 (4.4%)	219.8 (4.9%)	+28.5	+14.9%
のれん等償却	98.5	88.2	▲10.3	▲10.4%
営業利益 (営業利益率)	92.8 (2.1%)	131.6 (2.9%)	+38.8	+41.8%
経常利益 (経常利益率)	84.3 (1.9%)	137.1 (3.1%)	+52.8	+62.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	29.4 (0.7%)	70.8 (1.6%)	+41.4	+140.6%

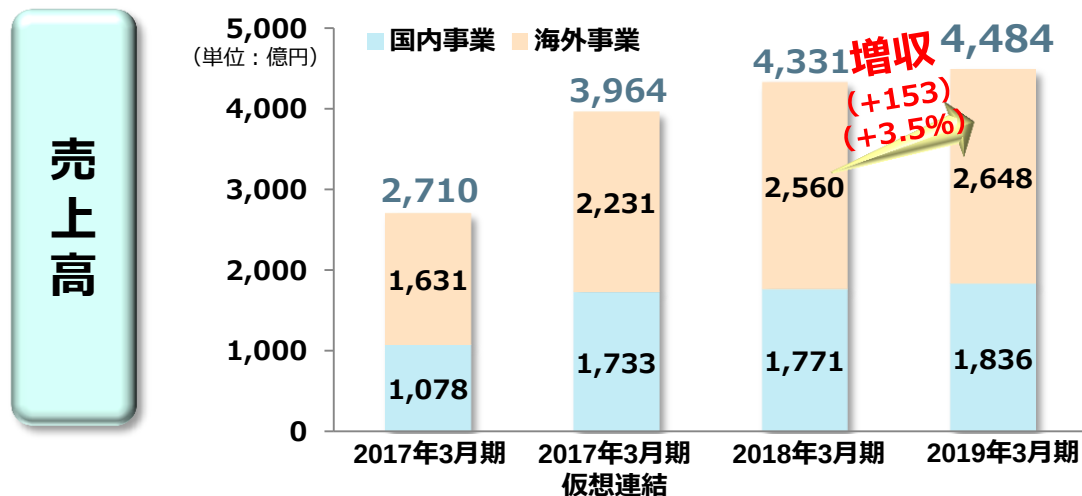
貸借対照表	2018年3月期	2019年3月期	前期比増減	
総資産	3,749	3,677	▲72	▲1.9%
総負債	3,126	2,992	▲134	▲4.3%
純資産	624	685	+61	+9.8%

2018年3月期実績レート：USD = 110.85円 EUR = 129.70円 CNY = 16.75円

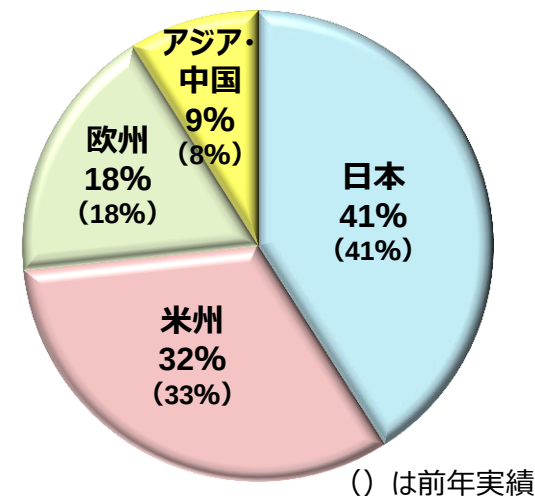
2019年3月期実績レート：USD = 110.91円 EUR = 128.41円 CNY = 16.54円

3. セグメント別業績

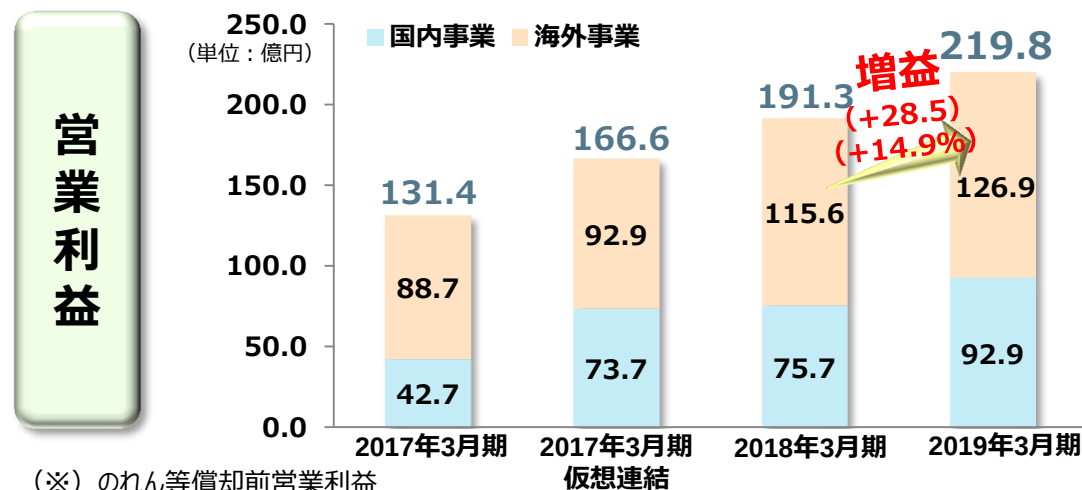
売上高：世界的な販売増および販価改善効果により増収



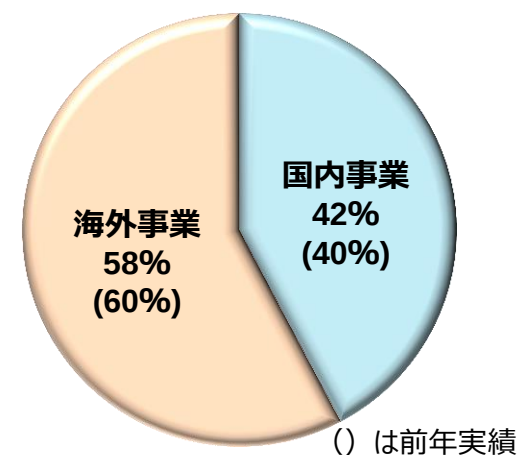
地域別内訳 (2019年3月期)



営業利益(※)：資材費高騰の影響があったものの、販売増・販価改善・機種統合効果等により増益



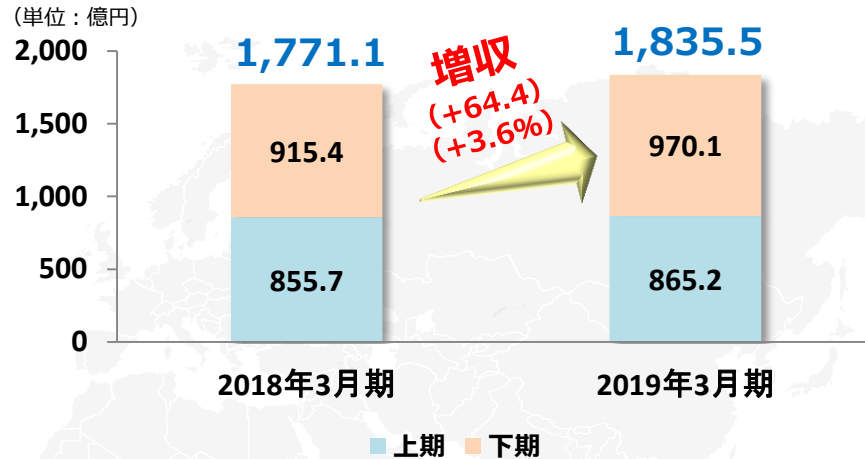
セグメント別内訳 (2019年3月期)



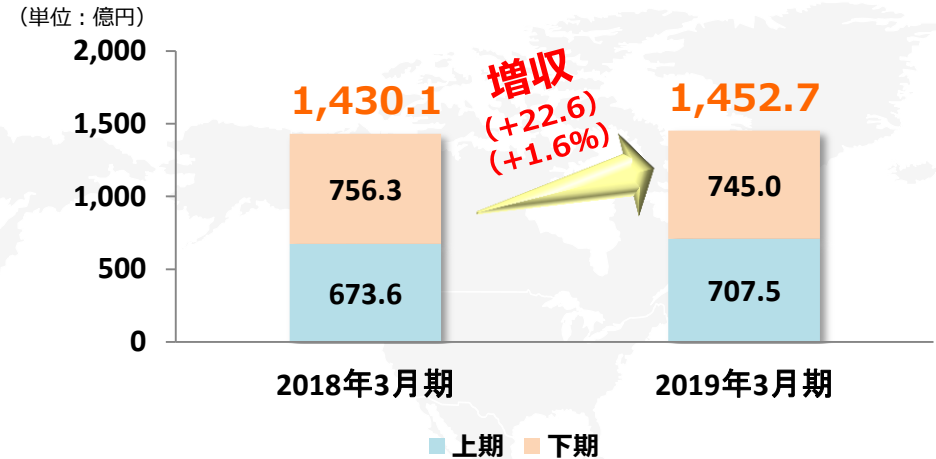
(※) のれん等償却前営業利益

4. 地域別売上高

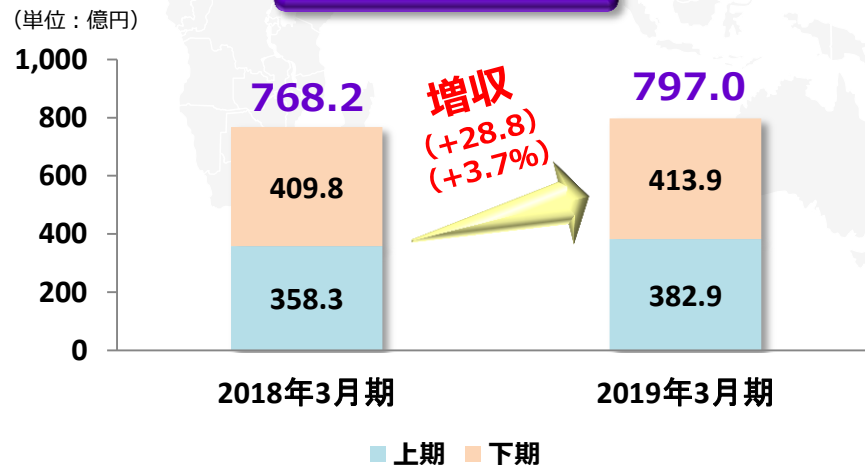
日本



米州



欧州



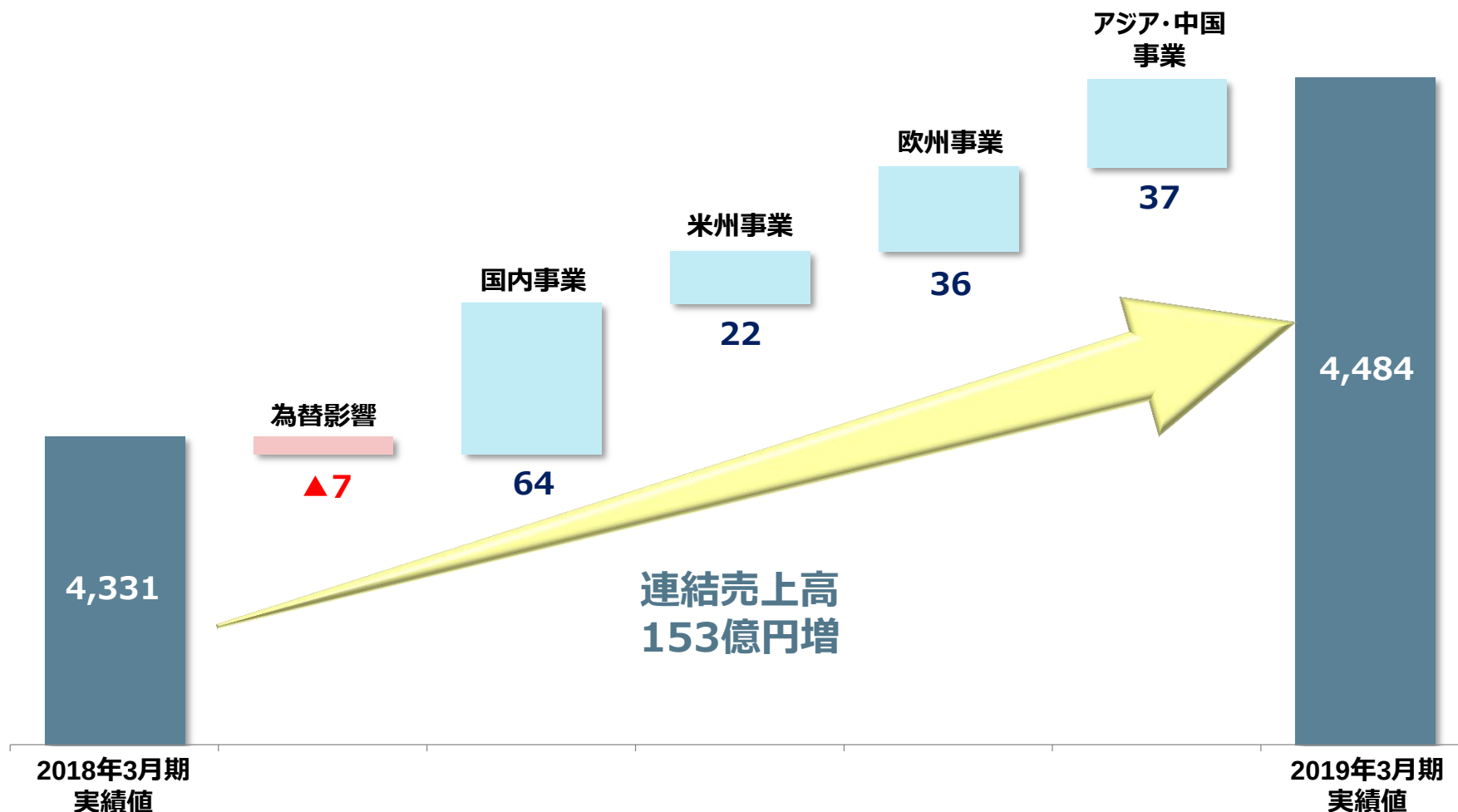
アジア・中国



5. 連結売上高増減要因（前年同期実績対比）

堅調な国内需要や海外全地域での販売増が寄与し増収

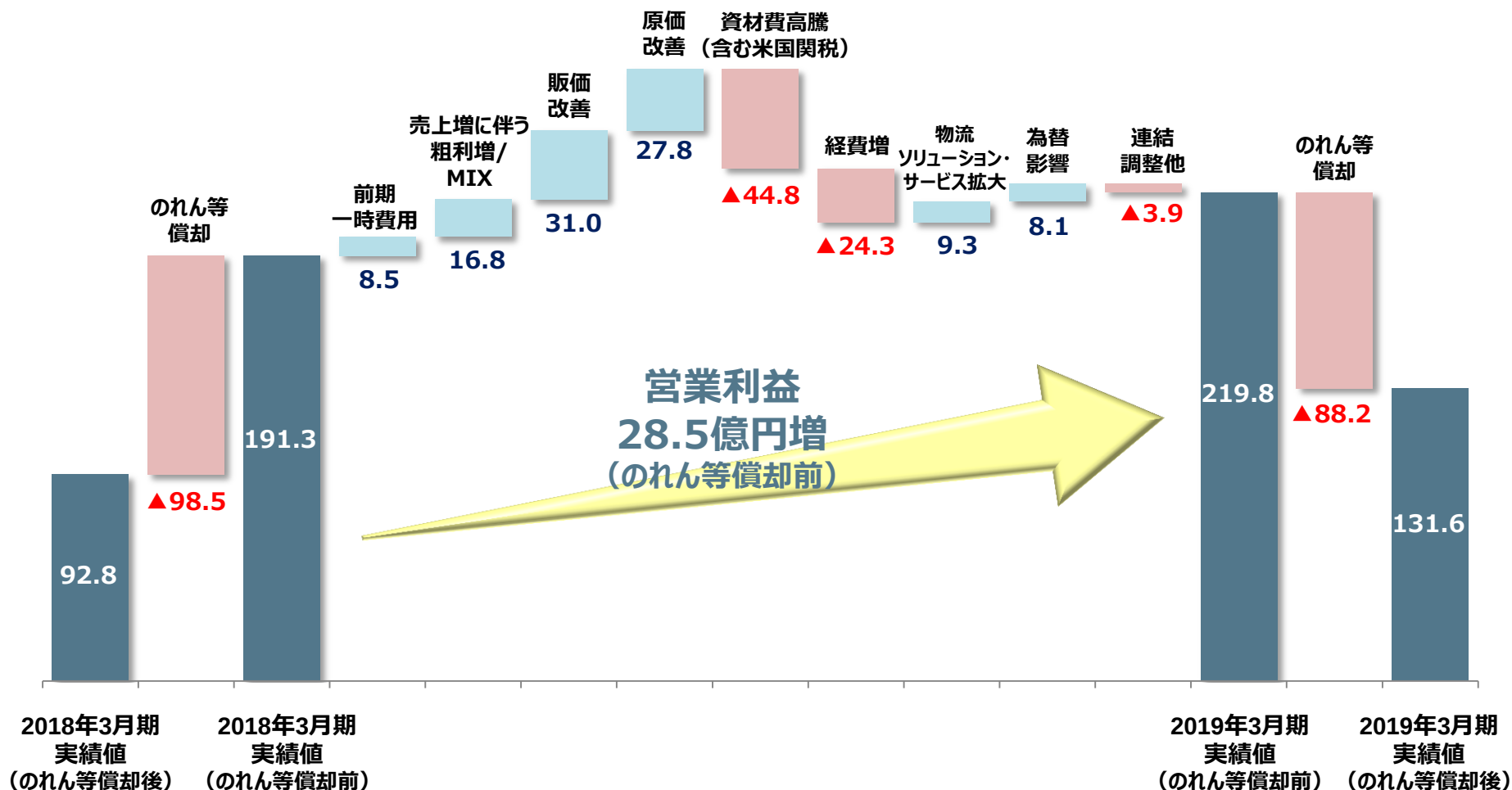
（単位：億円）



6. 連結営業利益増減要因（前年同期実績対比）

資材費高騰・経費増加等が響くも、
売上増や販価改善等のシナジーが寄与し増益

（単位：億円）

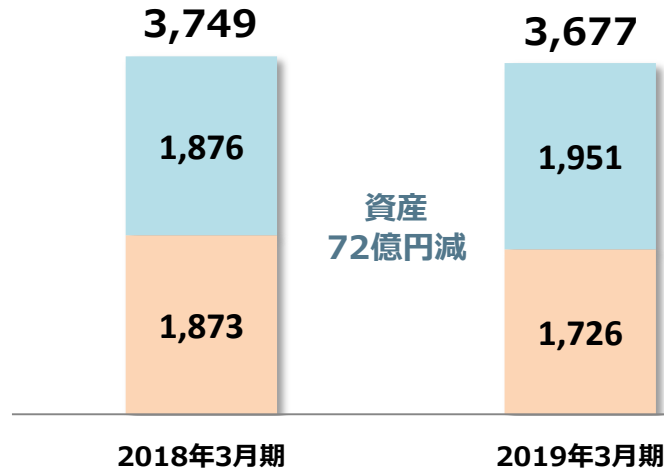


7. 連結貸借対照表

経営基盤強化を目的としたアセットマネジメントにより総資産を圧縮

(単位：億円)

資産

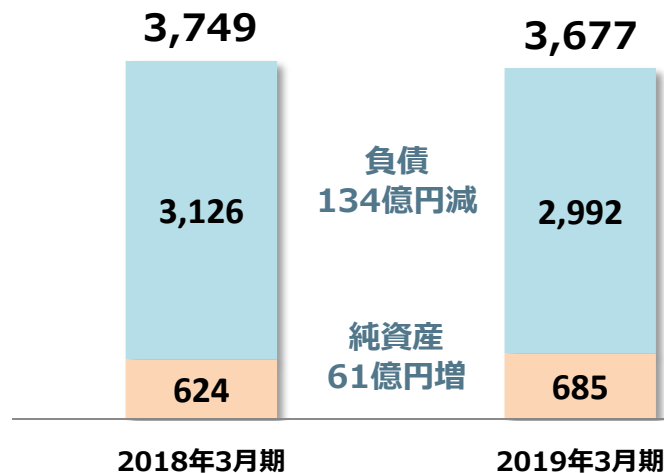


項目	2018年 3月期	2019年 3月期	増減
流動資産	1,876	1,951	+75
（有形固定資産）	918	846	▲72
（無形固定資産）	782	680	▲102
（投資その他）	174	200	+26
固定資産計	1,873	1,726	▲147
資産合計	3,749	3,677	▲72

固定資産

新川崎事業所ビル・土地売却
のれん等償却による減少

負債／純資産



項目	2018年 3月期	2019年 3月期	増減
流動負債	1,614	1,535	▲79
固定負債	1,511	1,457	▲54
負債合計	3,126	2,992	▲134
純資産計	624	685	+61
負債・純資産合計	3,749	3,677	▲72

負債

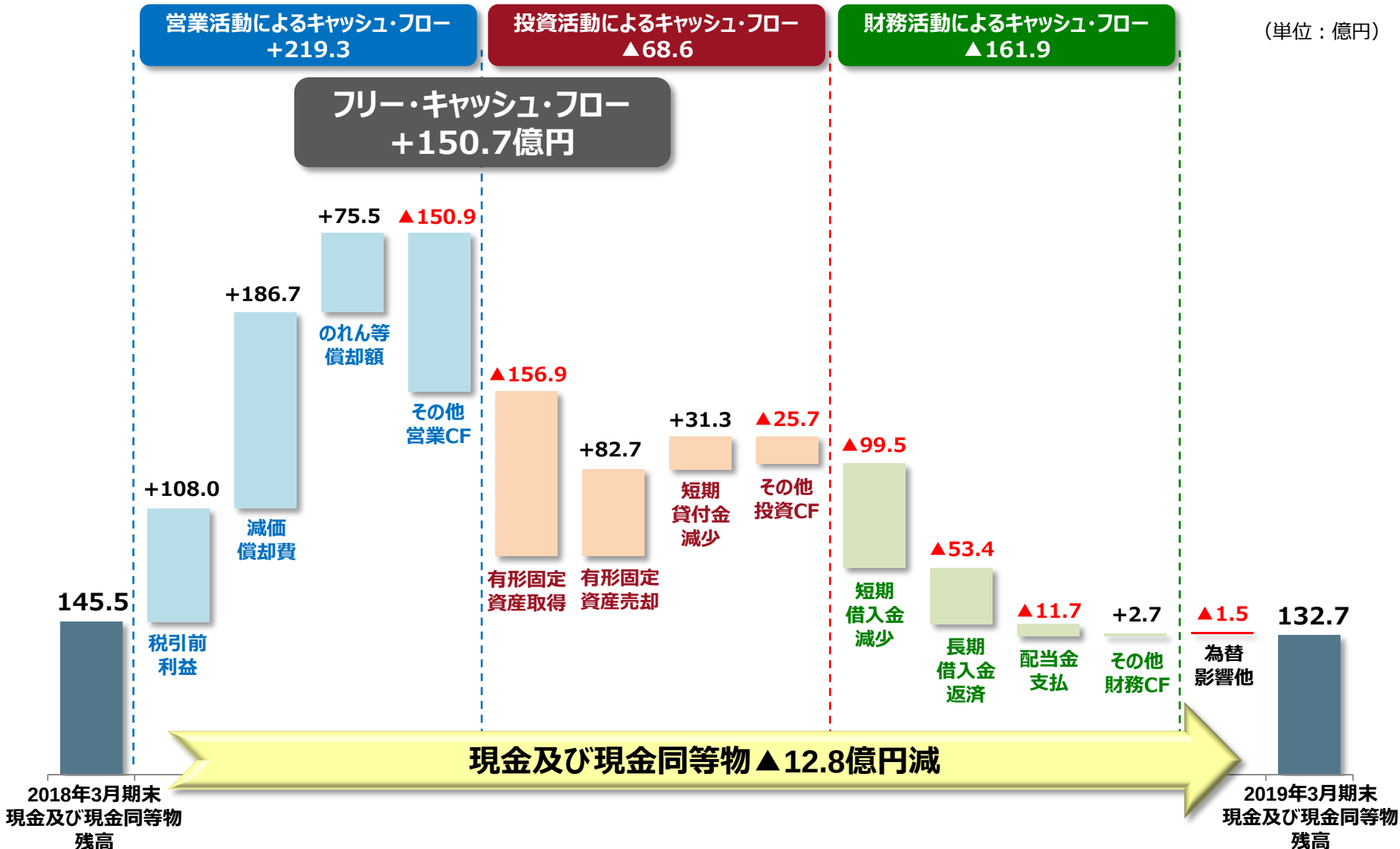
借入金返済による減少

純資産

利益剰余金の増加

8. キャッシュフローの状況

(単位：億円)



9. 2020年3月期通期業績見通し

(単位：億円)

	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比増減	
販売台数	116千台	119千台	+3千台	+2.6%
売上高	4,483.8	4,600.0	+116.2	+2.6%
営業利益 (のれん等償却前) (営業利益率)	219.8 (4.9%)	240.0 (5.2%)	+20.2	+9.2%
のれん等償却	88.2	90.0	—	—
営業利益 (営業利益率)	131.6 (2.9%)	150.0 (3.3%)	+18.4	+14.0%
経常利益 (経常利益率)	137.1 (3.1%)	150.0 (3.3%)	+12.9	+9.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	70.8 (1.6%)	90.0 (2.0%)	+19.2	+27.1%
1株あたり配当	13円	13円	—	—

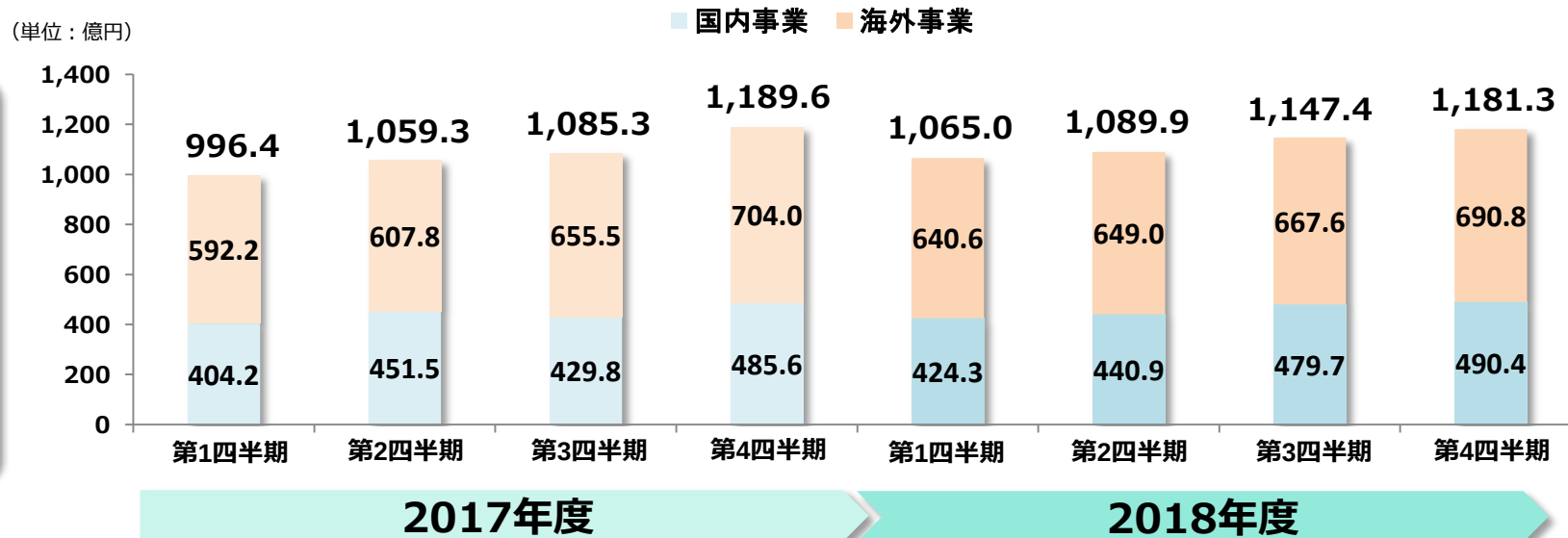
2019年度計画レート：USD=110円 EUR=125円 CNY=16円

【参考資料】主な経営指標

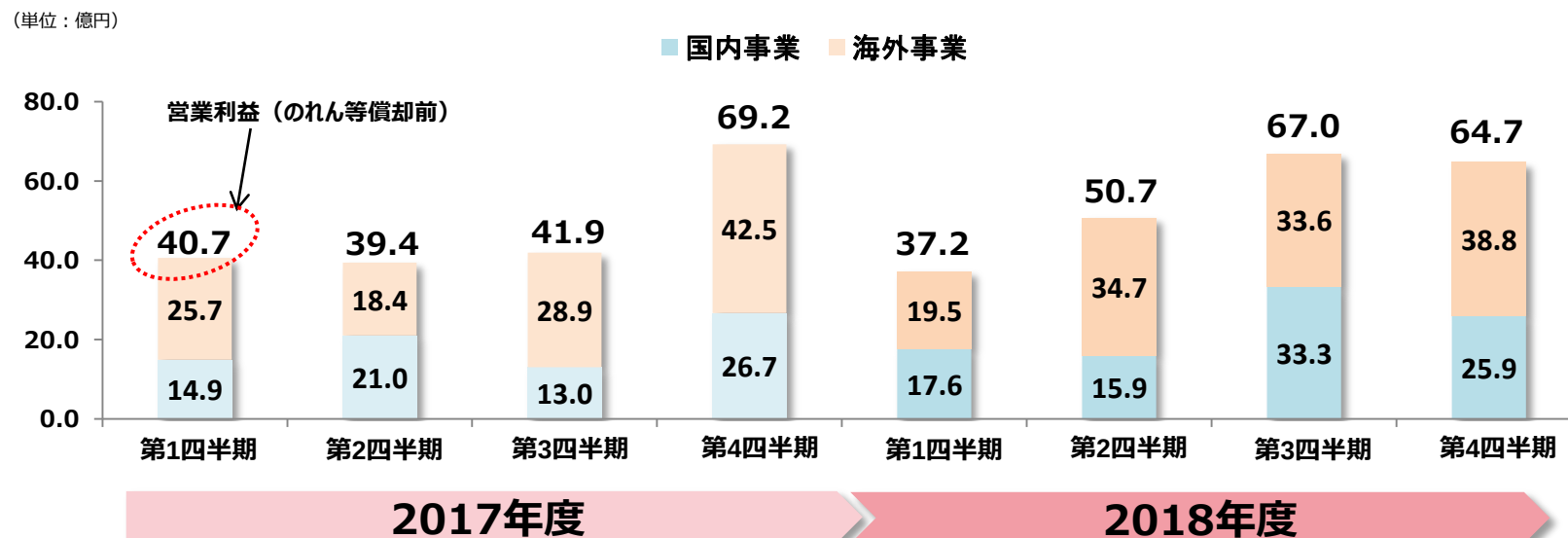
	指標	算式	2018年3月期		2019年3月期		コメント
				(のれん償却前)		(のれん償却前)	
総合	総資本利益率（ROA）	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{総資本}}$	0.8%	(3.3%)	1.9%	(4.2%)	のれん償却の減少、米国税制改革等が寄与し当期純利益が増加したことで良化 ＜のれん償却額累計＞ 2017年度：98.5億円 2018年度：88.3億円
	自己資本利益率（ROE）	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$	5.0%	(18.6%)	11.2%	(20.4%)	
収益性	売上高営業利益率	$\frac{\text{営業利益}}{\text{売上高}}$	2.1%	(4.4%)	2.9%	(4.9%)	
	売上高当期利益率	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}}$	0.7%	(2.8%)	1.6%	(3.5%)	
効率性	総資本回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資本}}$	1.2回		1.2回		
	売上債権回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{売上債権}}$	6.1回		5.8回		
	棚卸資産回転率	$\frac{\text{売上原価}}{\text{棚卸資産}}$	5.8回		5.6回		
安全性	自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$	16.0%		17.9%		
	D/Eレシオ	$\frac{\text{有利子負債}}{\text{株主資本}}$	3.0倍		2.5倍		
株主関連	1株あたり利益	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{発行済株式数}}$	27.6円		66.48円		
	株価収益率（PER）	$\frac{\text{株価}}{\text{1株あたり利益}}$	32.4倍		18.1倍		株価： 2018年3月期末：895円 2019年3月期末：1,205円
	株価純資産倍率（PBR）	$\frac{\text{株価}}{\text{1株あたり純資産}}$	1.6倍		1.9倍		

【参考資料】四半期推移

売上高



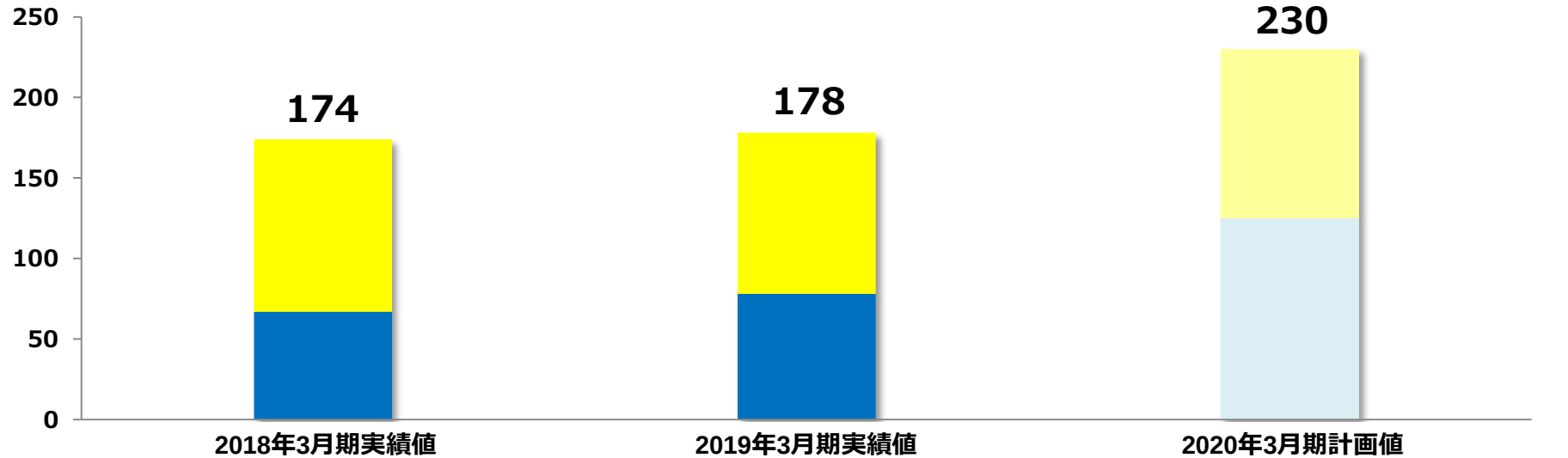
営業利益



【参考資料】設備投資／研究開発費

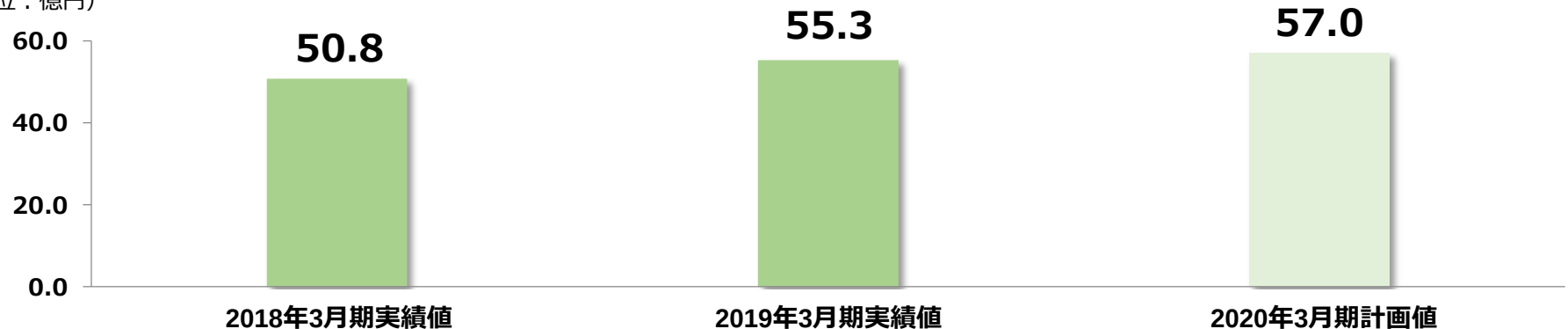
■ 設備投資額

(単位：億円)

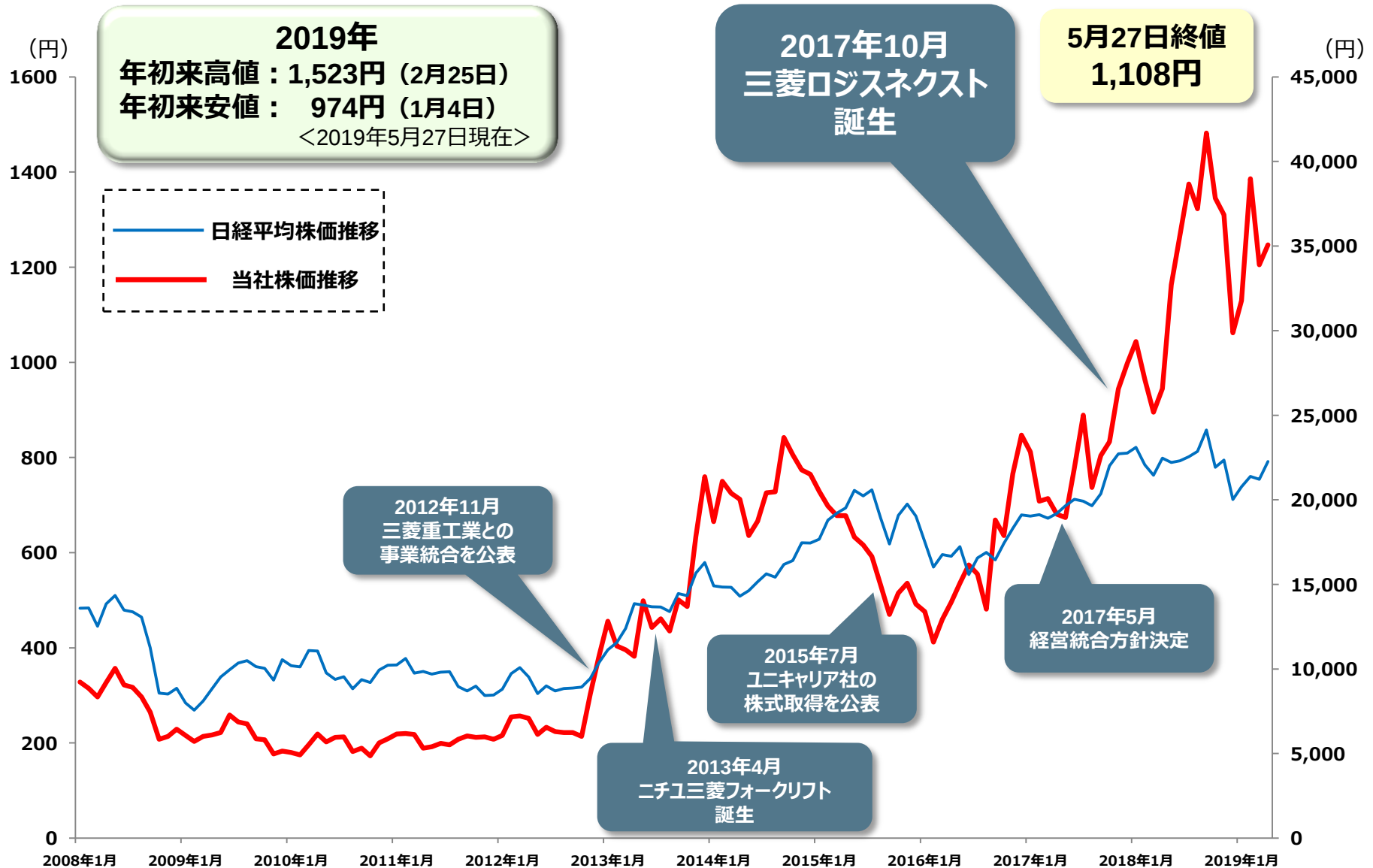


■ 研究開発費

(単位：億円)



【参考資料】株価の推移



商 号	三菱ロジスネクスト株式会社 (Mitsubishi Logisnext Co., Ltd.)
本社所在地	京都府長岡京市東神足2丁目1番1号
設 立	1937年8月
代 表 者	代表取締役社長 御子神 隆
資 本 金	48億94百万円
事業内容	バッテリーフォークリフト、エンジンフォークリフト、 搬送用ロボット、自動倉庫、WMS等の物流システム商品、 土木建設機械、産業用エンジン、ミッション等の開発・設計・ 製造・販売
事 業 所	【国内】京都・滋賀 他 【海外】米国・欧州・中国・アジア 他
連結従業員数	約11,000名
年間生産能力	約121,000台

【参考資料】国内生産／販売拠点

生産拠点：5 直系販社：11

【三菱ロジスネクスト】

本社（京都）
事業所（東京）

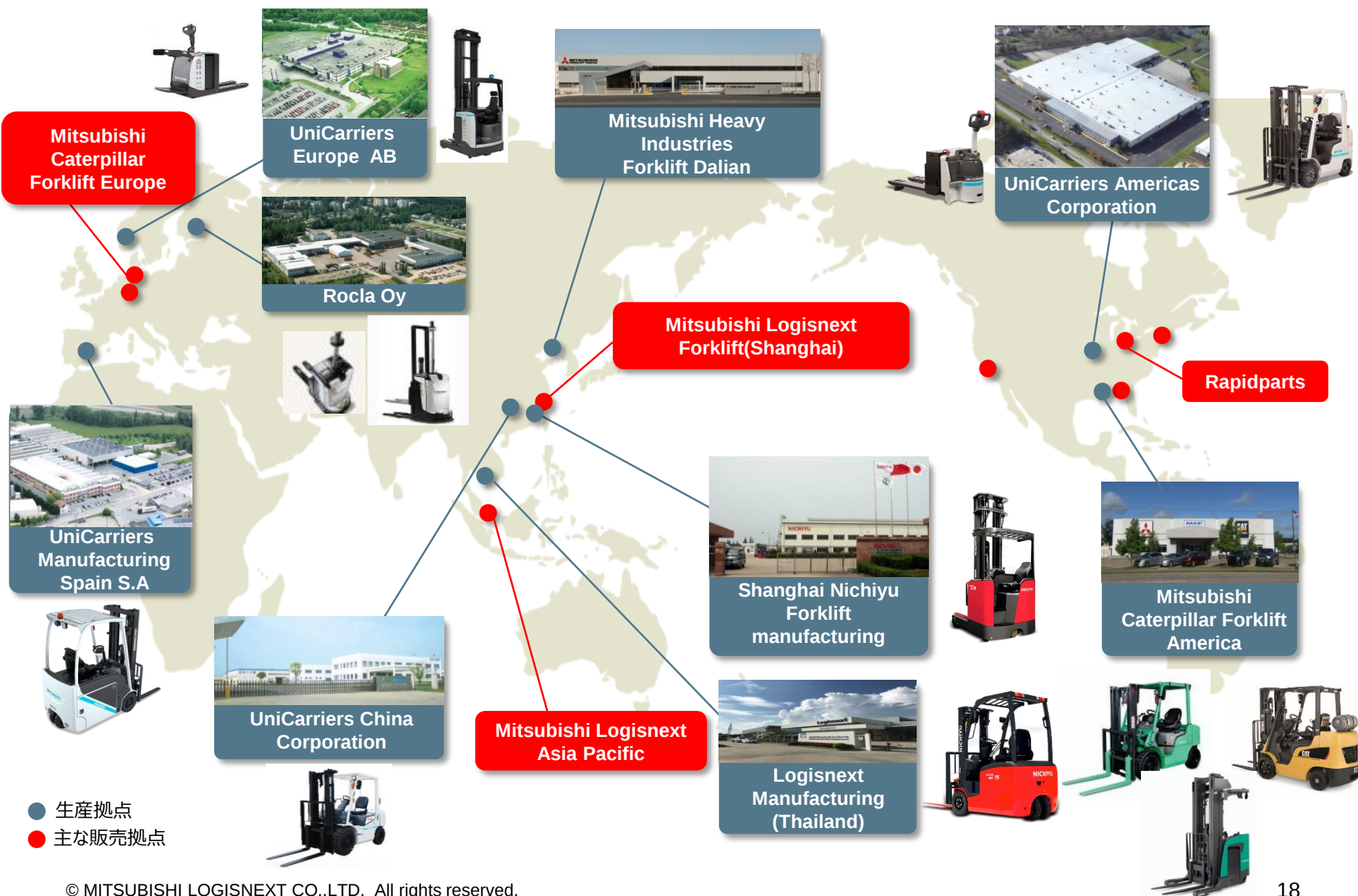
【直系販社11社】

- ①ロジスネクストユニキャリア
- ②ロジスネクスト北海道
- ③ロジスネクスト東北
- ④ロジスネクスト東京
- ⑤ロジスネクスト信越
- ⑥ロジスネクスト静岡
- ⑦ロジスネクスト中部
- ⑧ロジスネクスト近畿
- ⑨ロジスネクスト中国
- ⑩ロジスネクスト四国
- ⑪ロジスネクスト九州



【参考資料】主な海外生産／販売拠点

Logisnext





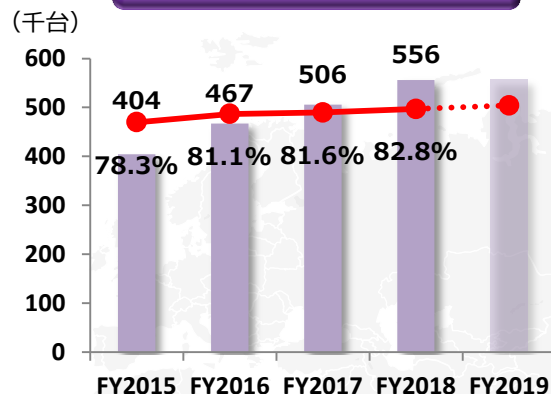
2019年度経営方針

三菱ロジスネクスト株式会社
取締役社長 御子神 隆

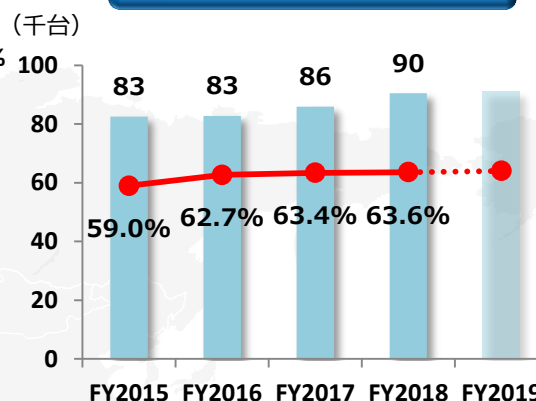
1. フォークリフト市場動向

2018年度世界市場は中国・アジア・欧州市場が牽引し、前年比11.5%増の1,520千台。
2019年度は米中貿易摩擦の影響により、景気後退の懸念あり。

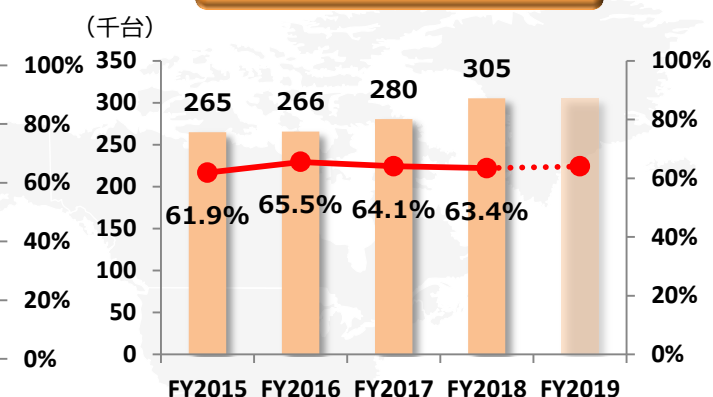
欧州 (中東・アフリカ含む)



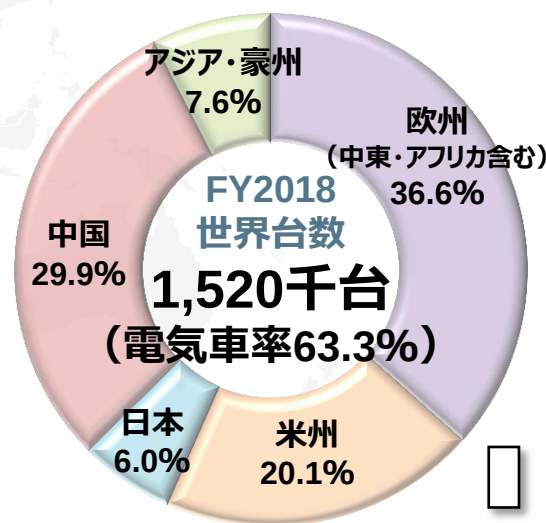
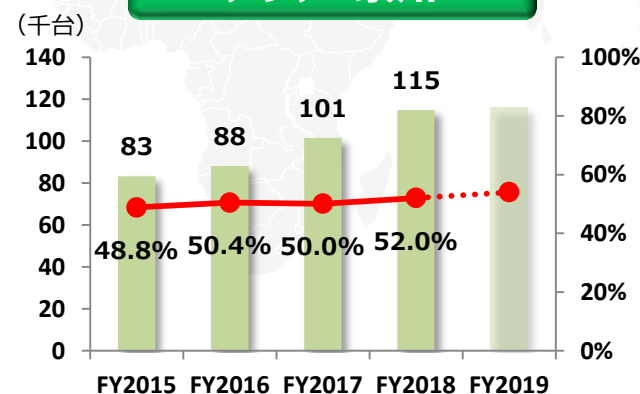
日本



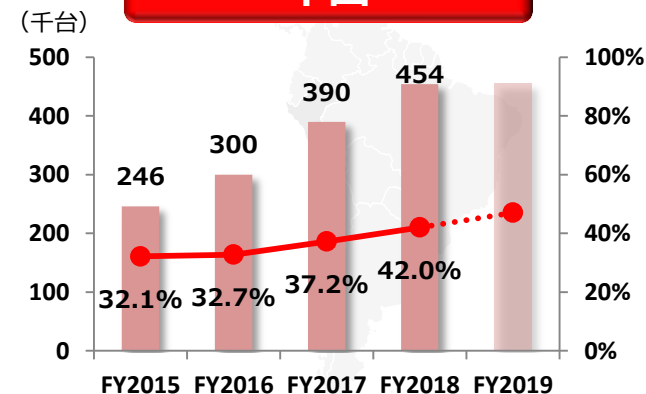
米州



アジア・豪州



中国



2. 2018年度トピックス

市場環境変化への対応

- 材料費高騰等に伴うフォークリフト価格改定。
- 欧州市場向新型バッテリーフォークリフトのモデルチェンジやLi-ion電池搭載製品のフォークリフトなど地域ニーズ・お客様ニーズにマッチした製品を展開。



欧州市場向け
バッテリーフォークリフト
「EDiA」



Li-ion電池搭載
「AGRES BX Li-ion」

経営資源の効率化

- 北米・欧州の統括会社設立。
- 中国での販売会社再編や中国及びマレーシア子会社譲渡などのリソースの選択と集中を実施。

新規事業の拡大と製品集約による生産性の向上

- 伸長を続ける電気車、AGV・AGFの品揃えを拡充。
- レーザー誘導方式無人フォークリフト「RACK FORK Auto（ラックフォークオート）」新発売。
- 製品集約により生産効率を向上させるとともに市場プレゼンスの拡大・シナジーの創出。



レーザー誘導AGF
「RACK FORK Auto」

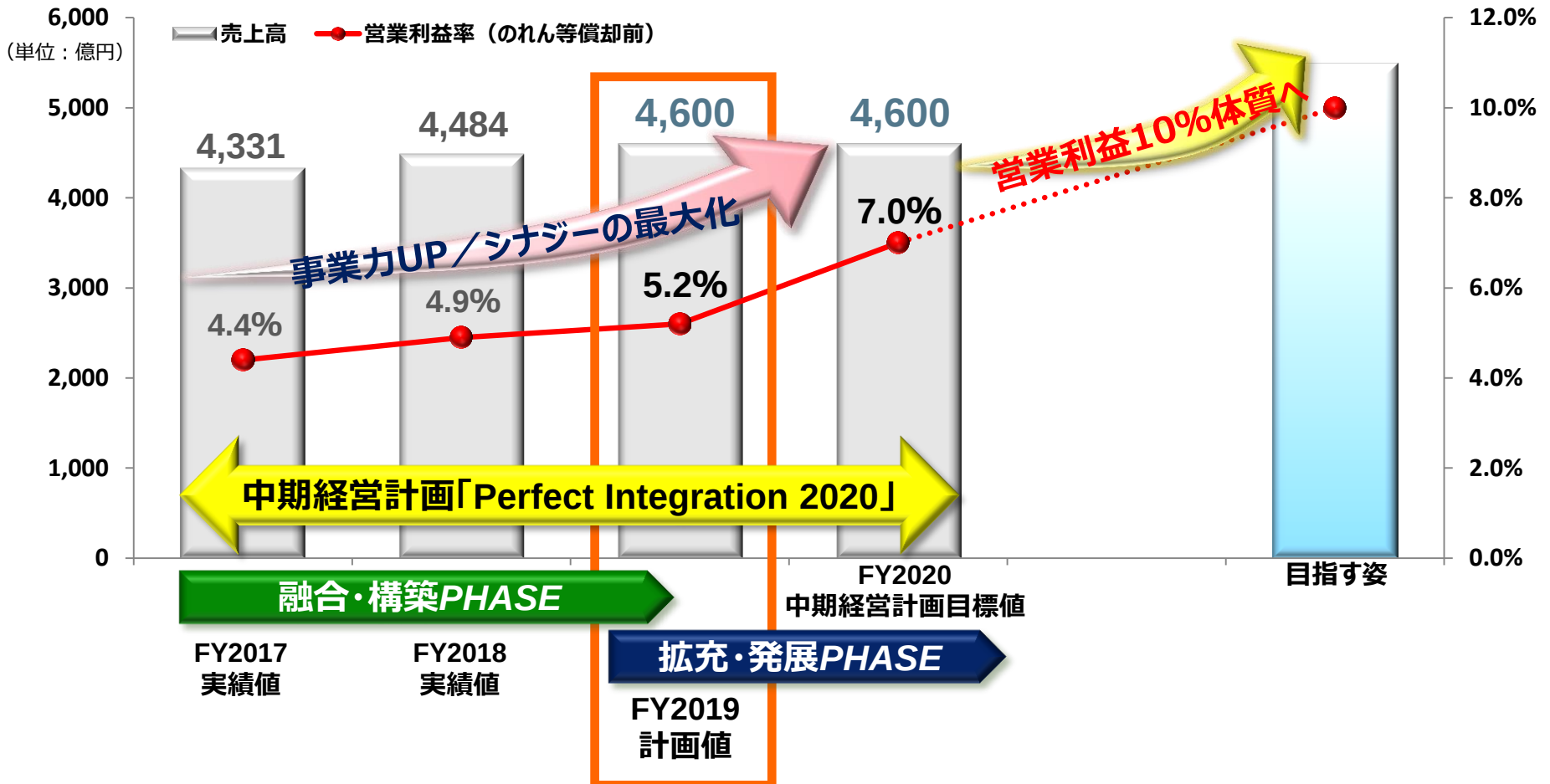


「プラッター」を
マルチブランドで展開

3. 2019年度経営方針

2019年度の位置づけ

- 中期経営計画「Perfect Integration 2020」の3年目
- 「拡充・発展PHASE」の実施
- 「既存事業」「シナジー創出」「新規事業」の3本柱で収益力を強化



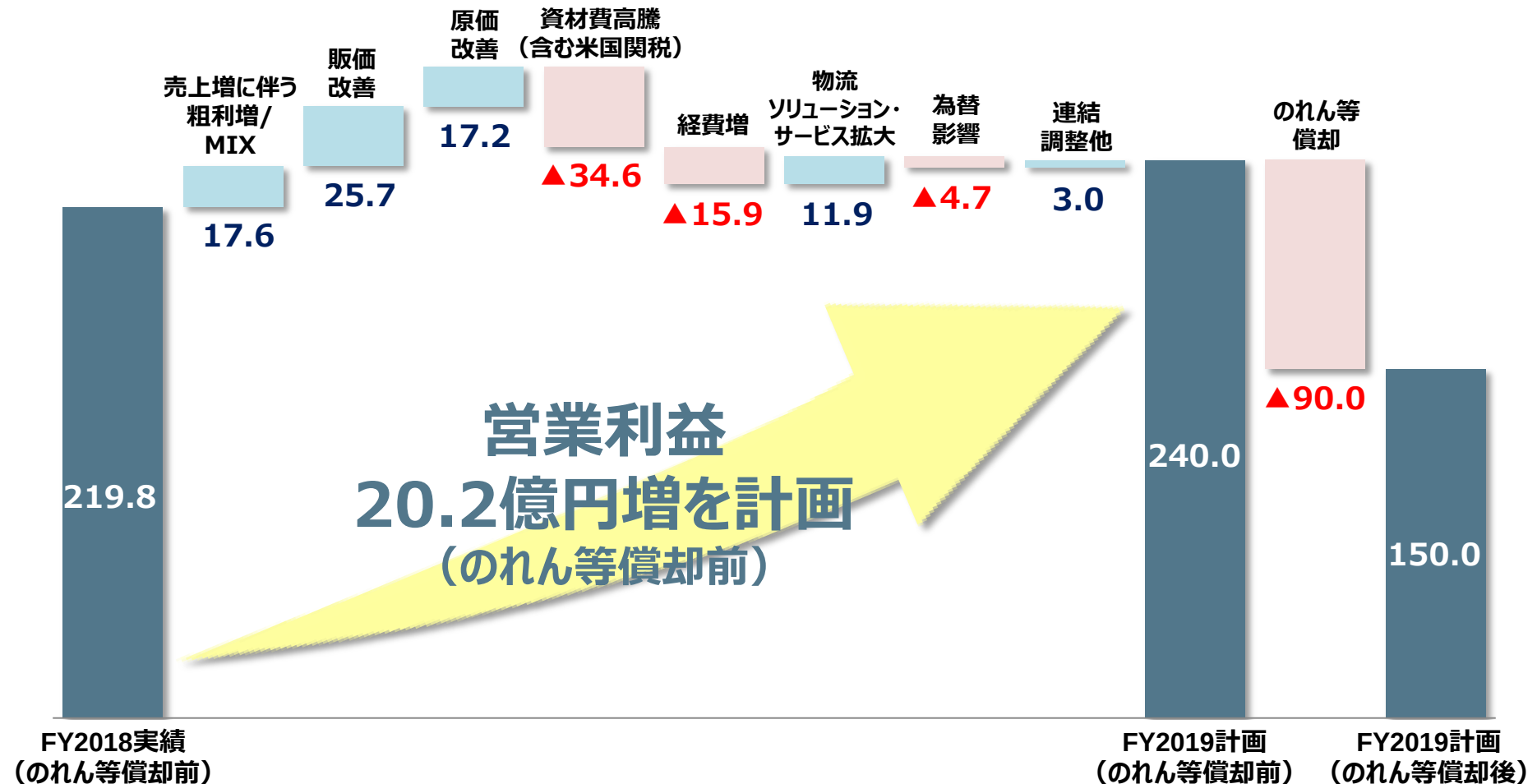
4. 連結営業利益増減要因

(2019年度計画／
2018年度実績対比)

Logisnext

2019年度は資材費高騰・米国関税影響等が響くも、売上増、販価改善やシナジーの創出により利益率が改善する見通し。

(単位：億円)



5. 中期経営計画進捗状況

中期経営計画達成に向け、事業拡大に向けた成長戦略とシナジーの確実な刈取りを実行するも、当初想定していた以上にリスクが顕在化。

FY2016仮想連結→FY2018実績

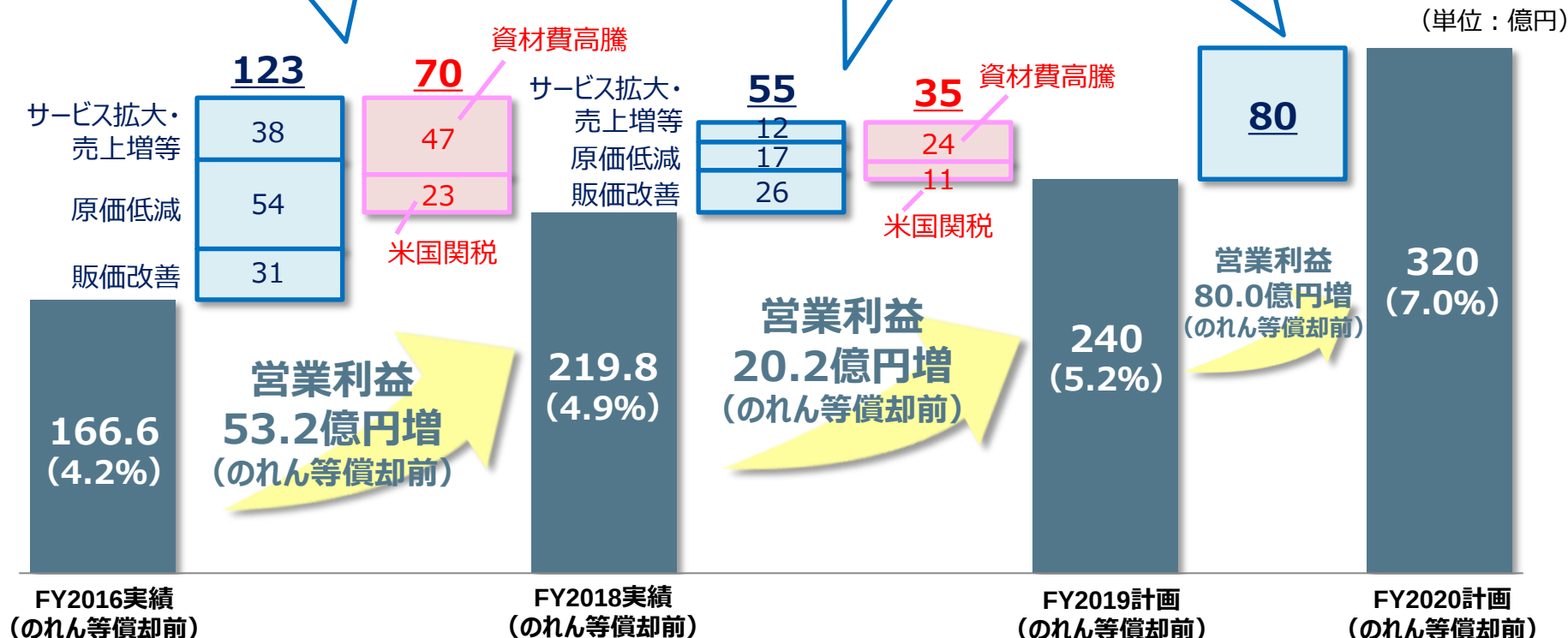
- ・原価低減を中心としたシナジー創出を実現するも、資材費高騰と米国関税が響く。

FY2018実績→FY2019計画

- ・米国関税が通年で影響。
- ・原材料市況も更なる悪化を見込む。
- ・更なるシナジー創出、販価改善で増益見込む。

FY2019計画→FY2020中期計画

- ・新機種投入
- ・AGV・物流ソリューション拡大
- ・サービス拡大
- ・販社統合・再編
- ・更なる原価低減推進



6. 既存事業

■ 地域ニーズにマッチした製品展開

➤ 新型フォークリフトがデザイン賞を受賞

- フィンランドで開発・生産している最新型のCaterpillarブランド電気式カウンターバランス型フォークリフトが2019年reddot award（欧州デザイン賞）を受賞。
- 360度ステアリング**による効率化向上などの“User Experience Design”が高く評価。

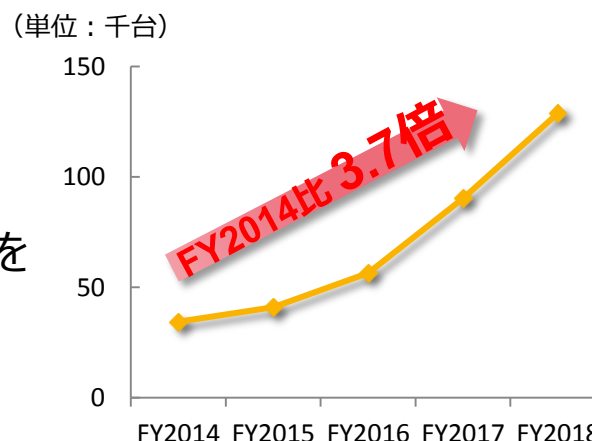


欧州向けCATブランド
電気式カウンターバランス型
3輪フォークリフト

➤ 成長市場への製品投入

- 中国市場においてウェアハウス機器の需要が拡大。
- お客様ニーズにお応えするため、欧州設計モデルのClassⅢ製品を中国にて生産・販売を開始し、ラインナップを充実化。

中国市場におけるClassⅢの推移



中国向けローリフト
(スタンドオン)

7. シナジー創出

■バリューチェーンの強化

➤ 新実験施設建設（滋賀工場内）

- ・ 新川崎事業所・京都工場・滋賀工場の各実験施設を集約。
- ・ 「製品品質の向上」「業務効率の向上」「開発リードタイムの短縮」「成長分野への開発力強化」を図る。



新実験施設完成イメージ図



■ 販売事業の強化

➤ 米国の物流機器販売代理店の全株式を取得

- 米国の物流機器販売代理店であるPon Material Handling NA 社の全株式を取得。
- 北米市場において直販事業ならびにサービス事業の強化および今後の成長を実現し、確固たる業界ポジションの構築を目指す。

Pon Material Handling NA社の概要	
社名	Pon Material Handling NA, Inc.
所在地	16630 Air Center Blvd. Houston, Texas, US
事業内容	物流機器の販売代理店
出資金	149百万USドル
設立年月日	2006年1月18日
連結売上高	486.4百万USドル（2018年度）
連結営業利益	17.1百万USドル（2018年度）

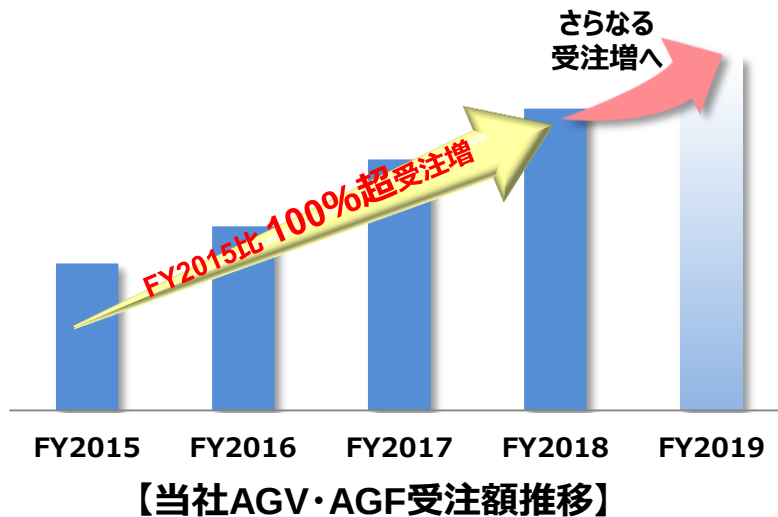


Pon Material Handling NA本社概観

■ 物流ソリューション領域の拡大

➤ AGV・AGF(※1)の拡販

- 世界のAGV・AGF市場は、2023年には約1,500億円規模に成長する見通し。(※2)
(2017年から2023年までの年平均成長率約8%)
- 当社においても「自動化・無人化・省人化」ニーズの高まりでAGV・AGFの受注が拡大。
国際物流総合展・ソリューションフェアでの展示やデモ走行を積極的に行い、
更なる事業拡大を目指す。



※1 AGV：無人搬送車（Automated Guided Vehicle）
AGF：無人フォークリフト（Automated Guided Forklift）
※2 当社グループによる推定値。

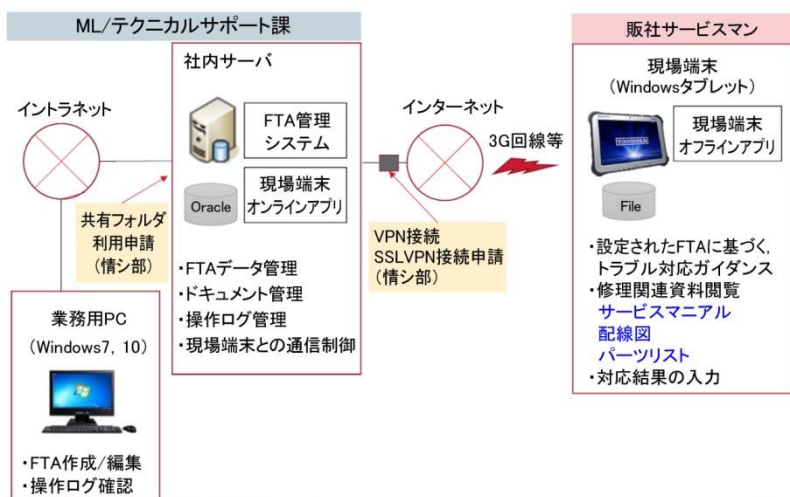


レーザー誘導AGV

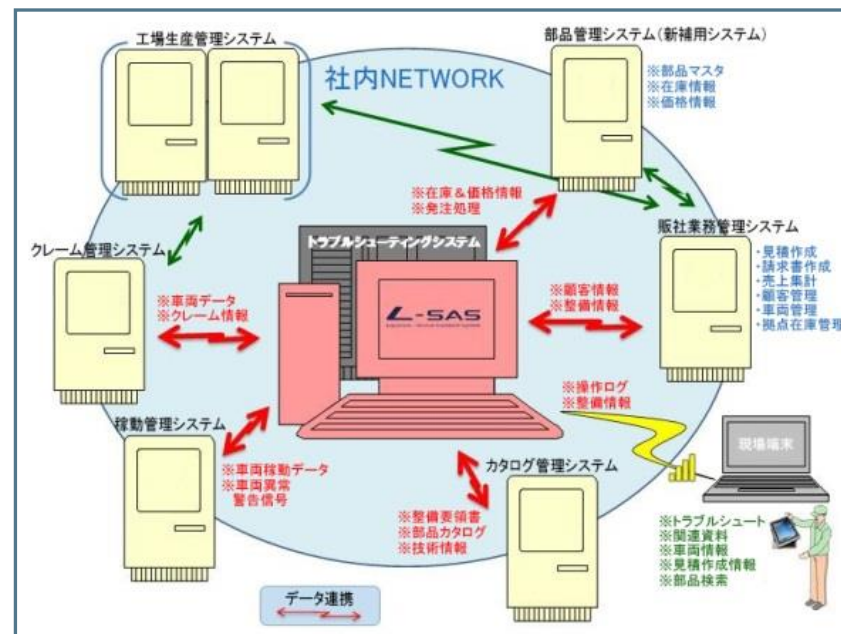
■ IT技術によるサービス品質向上

➤ フォークリフト・トラブルシューティングシステム L-SAS

- IT技術によってサービスの均衡化やノウハウを蓄積する
フォークリフト・トラブルシューティングシステム
(L-SAS : Logisnext-Service Assistant System)を開発。
- 均衡したサービス・品質を提供できる仕組みの構築と技術の平準化とダウンタイムの短縮
によりサービス業務の効率化を目指す。



システム構成図

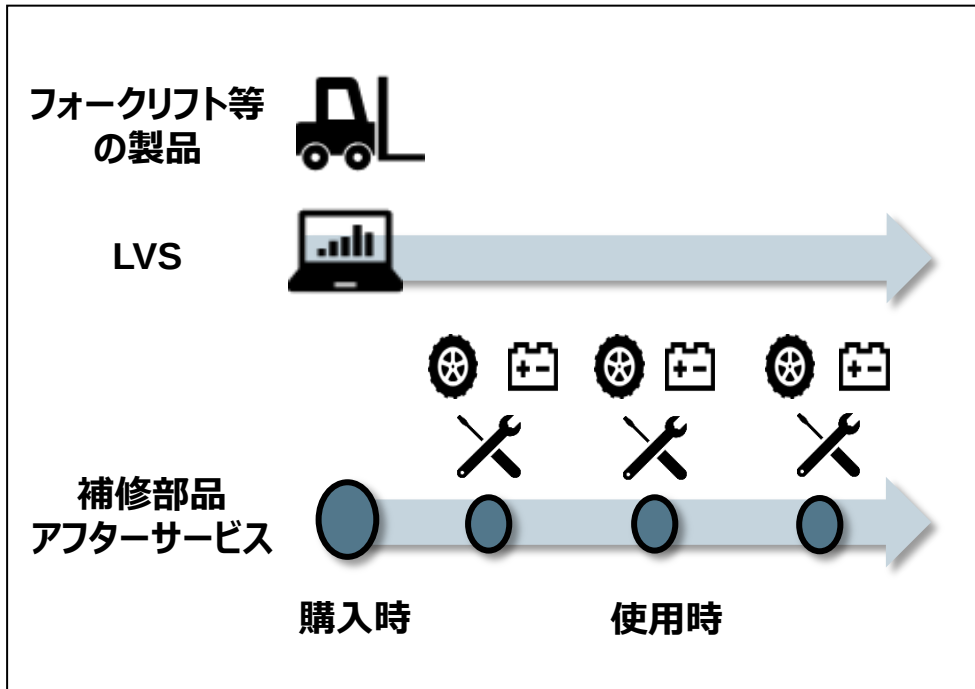


L-SASと各システムとの連携構想

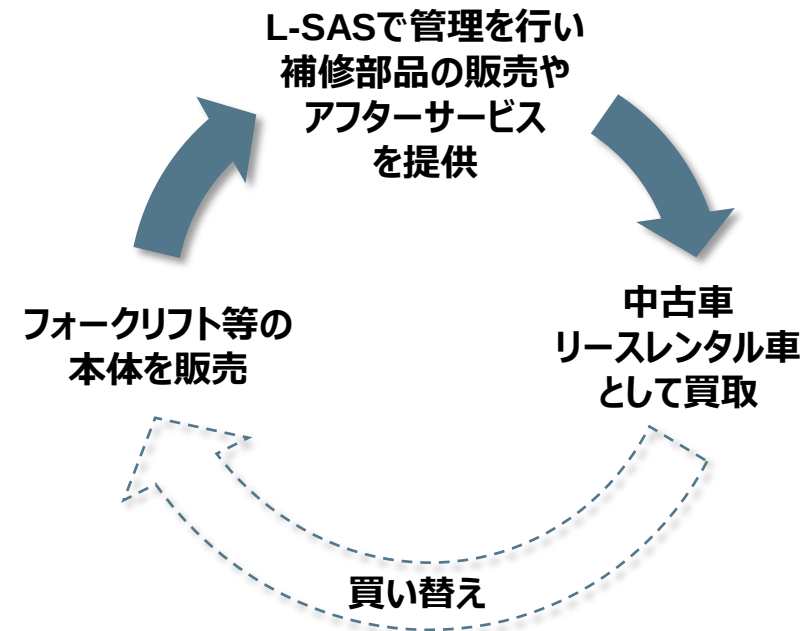
■IT技術を駆使したバリューチェーンの強化

➤ リレーションの構築・強化

- フォークリフト稼動管理システム「Logistics Vehicle Support (LVS)」での稼動状況の見える化やL-SASを活用した補修部品・アフターサービスの強化や中古車事業等を通じて、お客様との長期的なリレーションを構築・強化を図る。



製品ライフサイクル



1 2. スポーツ・文化・教育への協賛

■スポーツ

➤ 女子プロゴルファー青木瀬令奈選手とスポンサー契約を締結

- ・ 青木選手はトーナメント出場時などに
当社のロゴが付されたキャップ及びバイザーを着用。

➤ 京都サンガF.Cへ協賛

(三菱ロジスネクストpresents親子サッカー教室など)

➤ CAT Ladies 2018チャリティーへ協賛

➤ 島津全日本室内テニス選手権大会へ協賛

➤ GS YUASA OPENへ協賛



青木瀬令奈選手

■文化

➤ 京都フィルハーモニーへ協賛

■教育

➤ スーパーGT (GT300クラス)

- ・ 日産自動車大学が出走するカーレースの
レーシングカーに協賛企業として企業ロゴを掲載。
- ・ 継続的な産学連携活動に取り組む。



本社にてランチタイムコンサートを開催

注意事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予測に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。
- 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予測と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保障するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

本資料に関するお問い合わせ

三菱ロジスネクスト株式会社 財務企画部企画課 荻屋・柏木

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1

TEL : 075-956-8610 FAX : 075-951-4038

URL : www.logisnext.com

Logisnext

三菱ロジスネクスト